

第2回 町民ワークショップの実施結果

満足度は75%が好評、第3回も81%が参加意向。回答者の住まいは氷川が63%で、小河内は0%だった。

開催概要

項目	内容
日時	9月30日（水） 16:00～18:00（+懇親会）
会場	福社会館
内容	ワーク1 わたしが案内したい奥多摩 ワーク2 来てほしい人 × やってみたい取り組み

ふりかえりアンケートのポイント（n=16）

設問	結果
満足度	好評 75% （とても良かった44%・良かった31%）
第3回への参加	参加意向 81% （ぜひ50%・都合が合えば31%）
参加歴	第1回にも参加 69%／今回はじめて 31%
住まい	氷川 63%／古里 25%／ 小河内 0% ／無回答 13%

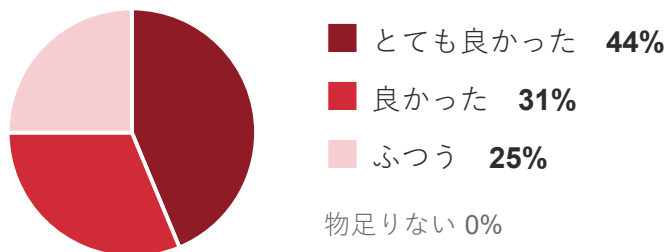
自由記述・運営への声

- ・ 冬・雨のコンテンツを考えたい／花の町づくり・景観ルール（看板など）
- ・ 駐車場の整備／もてなしの心／町民に耳をかたむける事
- ・ 「話す時間が足りない」 25%（初参加者に多い）→ 卓に進行役を

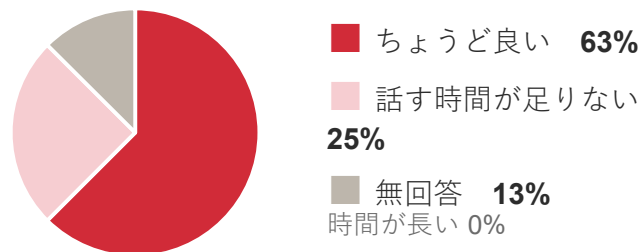
ふりかえりアンケートの結果（n=16）

満足度・継続意向は高い。一方で、回答者の住まいは氷川に偏り、小河内からの回答はなかった。

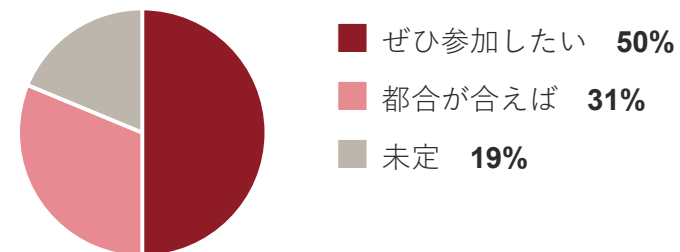
今日のWSはいかがでしたか？



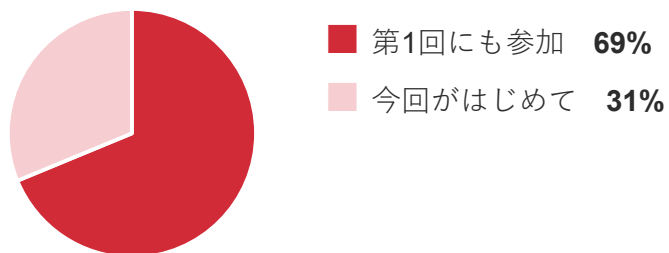
進め方（時間・グループ・テーマ）



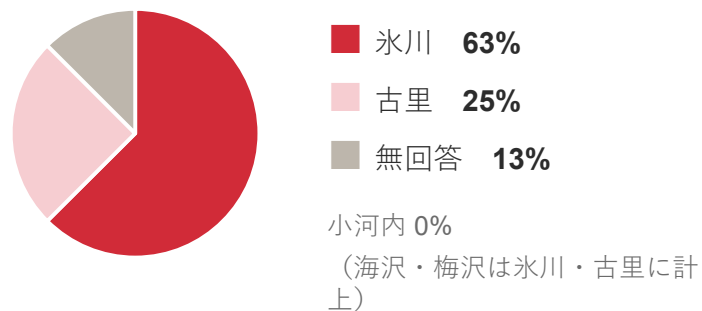
第3回（11/11）に参加したいか



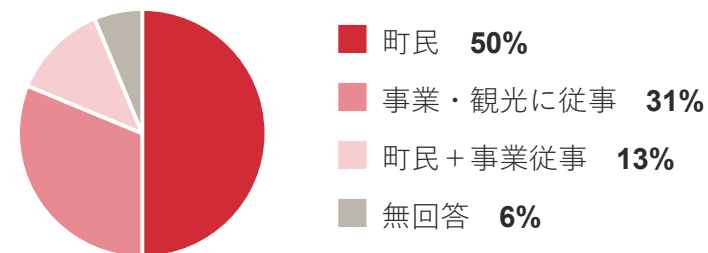
WSへの参加歴



お住まい



お立場



ワーク1 「奥多摩は____な町だった」と言ってほしい

持ち帰ってほしい印象は5系統。ビジョンそのものではなく、訴求ポイントの材料として扱う。

ゆったり・癒し

「ゆったりした時間が流れている」
「リラックスできる場所」
「自然の音が聞こえる町」

人があたたかい

「住んでいる人があたたかい」
「出逢った町の人皆あたたかかった」

遊べる・体験できる自然

「子どもも大人も自然の中であそべる」
「自然を見るだけでなく、体験も楽しめる」

きれい

「ゴミのなくきれいな町」
「空気がおいしい・水がきれい」
「トイレがきれい」

食・祭り・歴史

「おいしい食べ物があった」
「町外にない祭と花火」
「むかし道すてきで自然」

案内したいルート（例）

浮橋を渡る → 小河内神社 → のんき屋で昼 → 奥多摩湖・ダム → もえぎの湯車で鍾乳洞・奥多摩湖、時間があれば氷川溪谷・白丸湖山のふるさと村で、そば打ちなど普段できない体験を

出てきた問題提起

「そこでしか会えない人・得られない物」がないと、常連客は増えない郷土の伝統（技・物語・歴史）を、どうやって残す？
本来、山村にあるべきものが受け継がれていない

ワーク2-① 来てほしい人の「奥多摩の1日」

定番はもえぎの湯・奥多摩湖・星空。

時間帯	よく出たもの（10枚中）
朝	奥多摩湖・浮橋・小河内神社／鍾乳洞／むかし道・鳩ノ巣溪谷／白丸湖でSUP・カヌー
昼	フードコートのラーメン（3枚）／わさび井／のんき屋／BBQ・キャンプ場／山のふるさと村で体験
夕方	もえぎの湯（6枚）／せせらぎの里美術館・工房見学・ブックカフェ／横丁
夜・泊まる	星空・虫の声（3枚）／はとのす荘・旅館・民宿・古民家風の宿・キャンプ場
また来たくなる理由	季節ごとに（浮橋を見に）／行ったことのないルート／体験目的（カヌー・わさび田） 「また来たい」だけでなく「住んでみたい」と感じさせる企画を

選ばれた来てほしい人カード

カード	枚数
A はじめての周遊客	3
B 通いはじめた人	2
C 山・むかし道の常連	0
D 自然や文化に深く触れたい人	0
丸印なし	5

ただしDの中身は町民から出ている

デジタルデトックス・焚き火・古民家・自給自足など

→ Dを町民の言葉に言い換えると通じやすい

冬だったら？ 雨の日だったら？

冬は「あったかさ」を体験として打ち出す案がほぼ全卓から。雨は長居できる屋内拠点の不足が共通の課題。

❁ 冬：寒さを「あったかさ」に言い換える

あたたまり方	出た案
火を囲む	囲炉裏でだんらん＋奥多摩の民話／民家に多い薪ストーブ（登計トレイルでココア）／焚き火体験でホッコリ
湯に入る	各旅館で湯めぐり／もえぎの湯
こもる	こたつでのんびり、みかんを食べながら
冬だけの景色	雪景色をゆっくり／凍った滝を見る／早朝の寒さ体験

☂ 雨：「施設が小さくて長居しづらい」

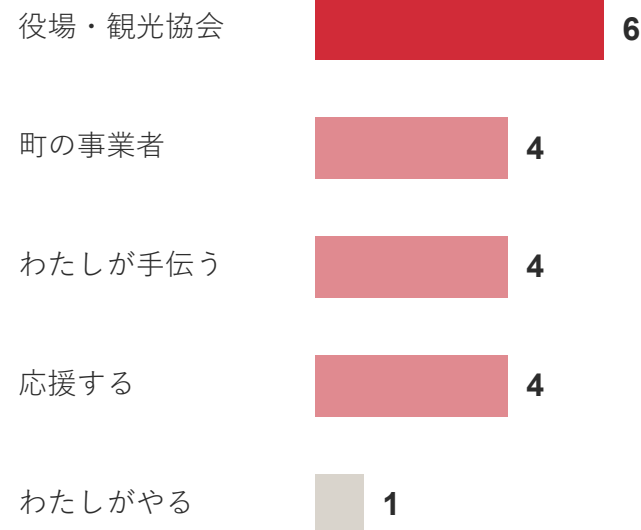
方向性	出た案
大きな屋内拠点	現庁舎を活用して広めの観光スポットに／新庁舎・図書館に雨の日の空間／駅前に特産品の集約店
今ある施設	せせらぎの里美術館・ビジターセンター・ふれあい館・もえぎの湯
屋内の体験	陶芸教室・そば打ち体験
雨を楽しむ	キャニオニング（どうせ濡れる）／雲のかかった山を眺める

ワーク2-② やってみたい取り組み（10件）

取り組みは5つにまとまる。「誰がやる？」は役場・観光協会への期待が最も多かった。

まとまり	取り組み	はじめの一步（記入あり）
冬・夜の 「あったか」	奥多摩の旅館で湯めぐり（スタンプラリー・次回割引券）／灯りと焚き火でもてなす冬の奥多摩／冬のあったか森作り	日帰り入浴できる旅館を増やす／宿泊割引で事業者・役場が連携
星・ホテル	天体望遠鏡の貸出・ガチャガチャ／夜のホテルさがし（南氷川・梅沢）	見積りを取る／他自治体の事例を聞く
癒し・ ゆっくり滞在	デジタルデトックスの1日（スマホを預けて12時間）／古民家改修の宿・自給自足体験	11～12月にモニターを数組募集
歩く・ 家族で体験	むかし道の正規ルート復活（駅～大麦代）／山のふるさと村での体験	花の町づくり（昔の看板のように）
小さな仕掛け	各駅・フォトスポットのミニ看板	まちづくり関係者に相談

誰がやる？（✓のあった7枚）



「わたしがやる」は小学生の1件のみ。
アンケートでも関わり方は
応援7・手伝い6・自分で1